

# 四 半 期 報 告 書

第143期 第2四半期

自 2020年7月1日  
至 2020年9月30日

株式会社豊田自動織機

(E01514)

# 目 次

	頁
第143期 第2四半期 四半期報告書	
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
3 【経営上の重要な契約等】	5
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
(1) 【株式の総数等】	6
(2) 【新株予約権等の状況】	6
(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】	6
(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】	6
(5) 【大株主の状況】	7
(6) 【議決権の状況】	8
2 【役員の状況】	8
第4 【経理の状況】	9
1 【要約四半期連結財務諸表】	10
2 【その他】	28
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	29
独立監査人の四半期レビュー報告書	巻末

本書は、金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次および頁を付し、出力・印刷したものであります。

本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された独立監査人の四半期レビュー報告書を末尾に綴じております。

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月13日

【四半期会計期間】 第143期第2四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 株式会社豊田自動織機

【英訳名】 TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大 西 朗

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)22-2511

【事務連絡者氏名】 経理部長 松 本 邦 亮

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内2丁目4番1号  
丸の内ビルディング29階  
株式会社豊田自動織機 東京支社

【電話番号】 東京(03)5293-2500

【事務連絡者氏名】 支社長 雲 内 崇

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第 1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第142期 第2四半期 連結累計期間	第143期 第2四半期 連結累計期間	第142期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (第2四半期連結会計期間) (百万円)	1,102,951 (551,725)	957,007 (526,149)	2,171,355
営業利益 (百万円)	71,582	30,201	128,233
四半期(当期)利益 (百万円)	84,919	50,251	150,187
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益 (第2四半期連結会計期間) (百万円)	82,284 (28,545)	48,108 (24,038)	145,881
四半期(当期)包括利益 (百万円)	177,901	216,070	10,474
親会社の所有者に帰属する持分 (百万円)	2,632,531	2,625,600	2,438,807
資産合計 (百万円)	5,464,655	5,547,111	5,279,653
基本的1株当たり 四半期(当期)利益 (第2四半期連結会計期間) (円)	265.02 (91.94)	154.95 (77.42)	469.85
希薄化後1株当たり 四半期(当期)利益 (円)	—	—	—
親会社所有者帰属持分比率 (%)	48.17	47.33	46.19
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	134,884	157,023	313,199
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△80,225	△265,727	△182,598
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△10,856	△33,082	△7,094
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	278,828	218,227	358,144

- (注) 1 当社は要約四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 希薄化後1株当たり四半期(当期)利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 4 上記指標は、国際会計基準(以下、「IFRS」という。)により作成した要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に基づいております。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、事業等のリスクに重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を1,459億円(13%)下回る9,570億円となりました。利益につきましては、グループあがての原価改善活動の推進、原材料の値下がり、諸経費の減少がありましたものの、主に売上高の減少により、営業利益は前年同期を413億円(58%)下回る302億円、税引前四半期利益は前年同期を428億円(40%)下回る652億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期を341億円(42%)下回る481億円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (自動車)

自動車におきましては、売上高は前年同期を654億円(21%)下回る2,498億円となりました。営業損失は175億円(前年同期は営業利益128億円)となりました。

このうち車両につきましては、RAV4が国内、海外向けともに減少したことにより、売上高は前年同期を51億円(11%)下回る412億円となりました。

エンジンにつきましては、GD型ディーゼルエンジンやM20A型およびA25A型ガソリンエンジンなどが減少したことにより、売上高は前年同期を107億円(17%)下回る510億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、北米や欧州などで減少したことにより、売上高は前年同期を439億円(26%)下回る1,254億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、電子機器、鋳造品ともに減少したことにより、売上高は前年同期を57億円(15%)下回る321億円となりました。

#### (産業車両)

産業車両におきましては、主力のフォークリフトトラックが欧州や北米などで減少したことにより、売上高は前年同期を643億円(9%)下回る6,629億円となりました。営業利益は前年同期を72億円(13%)下回る470億円となりました。

#### (繊維機械)

繊維機械におきましては、織機や繊維品質検査機器などが減少したことにより、売上高は前年同期を124億円(41%)下回る178億円となりました。営業損失は11億円(前年同期は営業利益10億円)となりました。

資産につきましては、主に投資有価証券の評価額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2,675億円増加し、5兆5,471億円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ808億円増加し、2兆8,399億円となりました。資本につきましては、前連結会計年度末に比べ1,866億円増加し、2兆7,071億円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益を652億円計上したことや、減価償却費及び償却費を1,034億円計上したことなどにより、1,570億円の資金の増加となりました。前年同期の1,348億円の増加に比べ、222億円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、預金引出による収入が2,954億円あったものの、預金預入により4,544億円を支出したことや、有形固定資産の取得により1,057億円を支出したことで、2,657億円の資金の減少となりました。前年同期の802億円の減少に比べ、1,855億円の支出の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が918億円あったものの、社債の償還による支出が625億円あったことなどにより、330億円の資金の減少となりました。前年同期の108億円の減少に比べ、222億円の支出の増加となりました。

これらの増減に加え、換算差額、期首残高を合わせますと、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は2,182億円となり、前連結会計年度末に比べ1,399億円(39%)の減少となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は、429億円(資産計上分含む)であります。なお、この中には受託研究等の費用58億円が含まれております。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末時点で未定としておりました設備の新設、除却等の計画について、第1四半期連結会計期間において決定し、第1四半期の四半期報告書に記載しております。

当第2四半期連結累計期間において、上記以外に、当社グループの主要な設備について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,100,000,000
計	1,100,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	325,840,640	325,840,640	東京、名古屋 各証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	325,840,640	325,840,640	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	325,840	—	80,462	—	101,766



## (5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	76,600	24.67
株式会社デンソー	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地	29,647	9.55
東和不動産株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目7番1号	16,291	5.25
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	15,868	5.11
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目9番8号	15,294	4.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	11,140	3.59
日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本スタートラスト信託銀行株式会社)	大阪府大阪市中央区今橋3丁目5番12号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	6,580	2.12
アイシン精機株式会社	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地	6,578	2.12
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (常任代理人 日本スタートラスト信託銀行株式会社)	東京都渋谷区恵比寿1丁目28番1号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	4,903	1.58
豊田自動織機従業員持株会	愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地	4,249	1.37
計	—	187,153	60.28

(注) 1 当社は、自己株式(15,357千株)を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。

2 上記所有株式数のうち信託業務に係る株式は次のとおりであります。

日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)

15,868千株

株式会社日本カストディ銀行(信託口)

11,140千株

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 15,357,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 310,306,700	3,103,067	—
単元未満株式	普通株式 176,240	—	—
発行済株式総数	325,840,640	—	—
総株主の議決権	—	3,103,057	—

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が5株含まれております。

② 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町 2丁目1番地	15,357,700	—	15,357,700	4.71
計	—	15,357,700	—	15,357,700	4.71

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権10個)あります。  
なお、当該株式数は、上記「①発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」（以下、「IAS第34号」という。）に準拠して作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1 【要約四半期連結財務諸表】

## (1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	358,144	218,227
預入期間が3ヶ月超の定期預金	175,216	334,695
営業債権及びその他の債権	867,088	887,396
その他の金融資産	5,273	3,938
たな卸資産	255,738	251,178
未収法人所得税	13,756	19,411
その他の流動資産	64,664	59,176
流動資産合計	1,739,883	1,774,024
非流動資産		
有形固定資産	991,195	999,391
のれん及び無形資産	354,701	352,745
営業債権及びその他の債権	4,123	4,258
持分法で会計処理されている投資	10,991	11,253
その他の金融資産	2,120,298	2,344,712
退職給付に係る資産	22,547	23,213
繰延税金資産	30,877	32,093
その他の非流動資産	5,034	5,417
非流動資産合計	3,539,770	3,773,086
資産合計	5,279,653	5,547,111

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	519,330	517,499
社債及び借入金	329,143	365,084
その他の金融負債	75,382	75,211
未払法人所得税	20,435	14,770
引当金	10,300	13,543
その他の流動負債	19,721	22,884
流動負債合計	974,314	1,008,995
非流動負債		
社債及び借入金	1,010,627	983,695
その他の金融負債	85,833	85,130
退職給付に係る負債	101,784	105,338
引当金	7,764	7,749
繰延税金負債	556,880	626,080
その他の非流動負債	21,911	22,957
非流動負債合計	1,784,801	1,830,951
負債合計	2,759,115	2,839,946
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	103,515	102,345
利益剰余金	1,267,521	1,290,888
自己株式	△59,307	△59,311
その他の資本の構成要素	1,046,614	1,211,214
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,438,807	2,625,600
非支配持分	81,730	81,564
資本合計	2,520,537	2,707,164
負債及び資本合計	5,279,653	5,547,111

## (2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

## 【要約四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6	1,102,951	957,007
売上原価		△842,620	△753,602
売上総利益		260,330	203,404
販売費及び一般管理費		△188,463	△178,510
その他の収益		3,900	10,924
その他の費用		△4,184	△5,618
営業利益		71,582	30,201
金融収益		40,211	39,982
金融費用		△4,553	△5,354
持分法による投資損益		819	382
税引前四半期利益		108,059	65,212
法人所得税費用		△23,139	△14,960
四半期利益		84,919	50,251
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		82,284	48,108
非支配持分		2,634	2,142
1株当たり四半期利益	7		
基本的1株当たり四半期利益(円)		265.02	154.95
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		—	—

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高		551,725	526,149
売上原価		△418,906	△404,148
売上総利益		132,819	122,001
販売費及び一般管理費		△92,966	△89,574
その他の収益		2,194	6,588
その他の費用		△2,135	△2,316
営業利益		39,912	36,697
金融収益		1,067	1,121
金融費用		△1,970	△2,877
持分法による投資損益		365	399
税引前四半期利益		39,374	35,342
法人所得税費用		△9,558	△8,962
四半期利益		29,816	26,379
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		28,545	24,038
非支配持分		1,271	2,341
1株当たり四半期利益	7		
基本的1株当たり四半期利益(円)		91.94	77.42
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		—	—

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益		84,919	50,251
その他の包括利益			
純損益に振替えられることのない項目			
FVTOCIの金融資産に係る評価差額	8	127,656	155,110
確定給付制度の再測定		121	98
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分		2	2
純損益に振替えられることのない項目 合計		127,779	155,211
純損益に振替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△34,985	9,883
キャッシュ・フロー・ヘッジ		269	652
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分		△82	72
純損益に振替えられる可能性のある項目 合計		△34,798	10,608
税引後その他の包括利益合計		92,981	165,819
四半期包括利益		177,901	216,070
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		177,728	212,805
非支配持分		172	3,264



【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

注記	前第2四半期連結会計期間	当第2四半期連結会計期間
	(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	29,816	26,379
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産に係る評価差額	101,838	57,488
確定給付制度の再測定	665	△468
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	1	△0
純損益に振替えられることのない項目 合計	102,505	57,019
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△16,648	2,498
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,331	△326
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	35	21
純損益に振替えられる可能性のある項目 合計	△17,944	2,193
税引後その他の包括利益合計	84,560	59,213
四半期包括利益	114,377	85,592
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	114,328	83,107
非支配持分	49	2,485

## (3) 【要約四半期連結持分変動計算書】

(単位：百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						FVTOCIの金融 資産に係る 評価差額	確定給付制度 の再測定
2019年4月1日残高		80,462	103,507	1,178,773	△59,297	1,234,370	—
会計方針の変更の影響		—	—	△80	—	—	—
2019年4月1日修正 再表示後残高		80,462	103,507	1,178,693	△59,297	1,234,370	—
四半期利益		—	—	82,284	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	127,645	121
四半期包括利益		—	—	82,284	—	127,645	121
自己株式の取得		—	—	—	△4	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当	5	—	—	△24,838	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動		—	7	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動		—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替		—	—	266	—	△144	△121
その他の増減		—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計		—	7	△24,572	△4	△144	△121
2019年9月30日残高		80,462	103,515	1,236,405	△59,302	1,361,871	—

2020年4月1日残高		80,462	103,515	1,267,521	△59,307	1,138,219	—
四半期利益		—	—	48,108	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	154,692	97
四半期包括利益		—	—	48,108	—	154,692	97
自己株式の取得		—	—	—	△4	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当	5	—	—	△24,838	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動		—	△1,169	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動		—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替		—	—	97	—	—	△97
その他の増減		—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計		—	△1,169	△24,741	△4	—	△97
2020年9月30日残高		80,462	102,345	1,290,888	△59,311	1,292,912	—

(単位：百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
		その他の資本の構成要素					
		在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2019年4月1日残高		△58,903	804	1,176,272	2,479,718	82,218	2,561,936
会計方針の変更の影響		—	—	—	△80	—	△80
2019年4月1日修正 再表示後残高		△58,903	804	1,176,272	2,479,638	82,218	2,561,856
四半期利益		—	—	—	82,284	2,634	84,919
その他の包括利益		△32,592	269	95,443	95,443	△2,461	92,981
四半期包括利益		△32,592	269	95,443	177,728	172	177,901
自己株式の取得		—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分		—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	5	—	—	—	△24,838	△1,404	△26,243
子会社に対する 所有者持分の変動		—	—	—	7	17	24
連結範囲の変更による 非支配持分の変動		—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替		—	—	△266	—	—	—
その他の増減		—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計		—	—	△266	△24,835	△1,387	△26,222
2019年9月30日残高		△91,496	1,074	1,271,449	2,632,531	81,004	2,713,535

2020年4月1日残高		△93,662	2,057	1,046,614	2,438,807	81,730	2,520,537
四半期利益		—	—	—	48,108	2,142	50,251
その他の包括利益		9,254	652	164,696	164,696	1,122	165,819
四半期包括利益		9,254	652	164,696	212,805	3,264	216,070
自己株式の取得		—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分		—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	5	—	—	—	△24,838	△1,134	△25,972
子会社に対する 所有者持分の変動		—	—	—	△1,169	△2,296	△3,466
連結範囲の変更による 非支配持分の変動		—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替		—	—	△97	—	—	—
その他の増減		—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計		—	—	△97	△26,012	△3,430	△29,443
2020年9月30日残高		△84,407	2,709	1,211,214	2,625,600	81,564	2,707,164

## (4) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		108,059	65,212
減価償却費及び償却費		101,074	103,439
減損損失		741	847
受取利息及び受取配当金		△39,818	△38,521
支払利息		3,147	2,915
持分法による投資損益(△は益)		△819	△382
たな卸資産の増減額(△は増加)		△11,310	8,266
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)		△22,924	△8,656
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)		△28,781	△8,905
その他		11,058	26,690
小計		120,425	150,905
利息及び配当金の受取額		40,093	38,676
利息の支払額		△2,872	△2,687
法人所得税の支払額		△22,762	△29,870
営業活動によるキャッシュ・フロー		134,884	157,023
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△105,162	△105,753
有形固定資産の売却による収入		6,662	7,147
投資有価証券の取得による支出		△1,397	△871
投資有価証券の売却による収入		1,890	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		△1,318	△714
貸付による支出		△185	△667
貸付金の回収による収入		214	456
預金預入による支出		△263,678	△454,447
預金引出による収入		298,053	295,471
事業譲受による支出		△5,825	△901
その他		△9,477	△5,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		△80,225	△265,727
財務活動によるキャッシュ・フロー			
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出		△0	△5,253
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入		227	824
短期借入金(3ヶ月以内)の純増減額(△は減少)		18,280	△19,944
短期借入れ(3ヶ月超)による収入		9,970	21,469
短期借入金(3ヶ月超)の返済による支出		△10,822	△42,380
長期借入れによる収入		74,812	91,897
長期借入金の返済による支出		△78,229	△28,579
社債の発行による収入		27,174	47,038
社債の償還による支出		△22,369	△62,506
自己株式の取得による支出		△4	△4
配当金の支払額	5	△24,838	△24,838
非支配持分への配当金の支払額		△1,404	△1,134
その他		△3,653	△9,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,856	△33,082
現金及び現金同等物に係る換算差額		△4,114	1,869
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		39,687	△139,917
現金及び現金同等物の期首残高		239,140	358,144
現金及び現金同等物の四半期末残高		278,828	218,227

## 【要約四半期連結財務諸表注記】

### 1. 報告企業

株式会社豊田自動織機(以下、「当社」という。)は日本に所在する企業であります。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社および連結子会社(以下、「当社グループ」という。)、ならびに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、自動車、産業車両、繊維機械などの製造・販売を主な内容とし、事業活動を展開しております。

### 2. 作成の基礎

#### (1) 要約四半期連結財務諸表が I F R S に準拠している旨の記載

本要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たすことから、同規則第93条の規定により、I A S 第34号に準拠して作成しております。本要約四半期連結財務諸表は、連結会計年度の連結財務諸表で要求されるすべての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

本要約四半期連結財務諸表は、2020年11月13日に、当社取締役社長 大西 朗によって承認されております。

#### (2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループ各社の財務諸表に含まれる項目は、当社グループ各社がそれぞれ営業活動を行う主たる経済環境の通貨(以下、「機能通貨」という。)を用いて測定しております。要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切捨てて表示しております。

#### (3) 見積りおよび判断の利用

本要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用ならびに資産、負債、収益および費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積りおよび仮定の設定をすることが義務付けられております。ただし、実際の業績はこれらの見積りとは異なる場合があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの改定は、見積りが改定された会計期間および影響を受ける将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表上で認識する金額に重要な影響を与える見積りおよび判断は、原則として前連結会計年度と同一であります。

### 3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

#### 4. セグメント情報

報告セグメントの識別方法、各報告セグメントが営む事業の内容およびセグメント利益の測定基準については、当第2四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

##### (1) 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	315,242	727,267	30,227	30,213	1,102,951	—	1,102,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,542	1,139	116	14,509	29,308	△29,308	—
計	328,784	728,407	30,344	44,723	1,132,259	△29,308	1,102,951
セグメント利益 又は損失(△)	12,854	54,299	1,065	3,522	71,742	△160	71,582
金融収益							40,211
金融費用							△4,553
持分法による投資損益							819
税引前四半期利益							108,059

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額の内訳

セグメント利益又は損失の調整額△160百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	249,867	662,920	17,882	26,336	957,007	—	957,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,261	707	137	12,958	24,064	△24,064	—
計	260,129	663,627	18,019	39,295	981,071	△24,064	957,007
セグメント利益 又は損失(△)	△17,519	47,069	△1,145	1,746	30,151	50	30,201
金融収益							39,982
金融費用							△5,354
持分法による投資損益							382
税引前四半期利益							65,212

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額の内訳

セグメント利益又は損失の調整額50百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	155,525	365,617	15,153	15,430	551,725	—	551,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,688	587	53	7,855	15,185	△15,185	—
計	162,213	366,205	15,206	23,285	566,911	△15,185	551,725
セグメント利益 又は損失(△)	6,530	31,160	369	1,902	39,963	△50	39,912
金融収益							1,067
金融費用							△1,970
持分法による投資損益							365
税引前四半期利益							39,374

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額の内訳

セグメント利益又は損失の調整額△50百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	155,107	347,128	9,807	14,105	526,149	—	526,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,383	523	68	7,143	13,118	△13,118	—
計	160,490	347,651	9,876	21,249	539,267	△13,118	526,149
セグメント利益 又は損失(△)	5,382	29,875	△130	1,543	36,671	26	36,697
金融収益							1,121
金融費用							△2,877
持分法による投資損益							399
税引前四半期利益							35,342

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額の内訳

セグメント利益又は損失の調整額26百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 5. 配当金

### (1) 配当金支払額

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月11日 定時株主総会	普通株式	24,838	80	2019年3月31日	2019年6月12日

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年4月30日 取締役会	普通株式	24,838	80	2020年3月31日	2020年5月25日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年10月31日 取締役会	普通株式	24,838	80	2019年9月30日	2019年11月26日

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年10月29日 取締役会	普通株式	21,733	70	2020年9月30日	2020年11月26日

## 6. 収益

当社グループは、注記4「セグメント情報」に記載のとおり、「自動車」、「産業車両」、「繊維機械」の3つを報告セグメントとしております。なお、売上高の推移など経済的特徴が概ね類似している事業セグメント「車両」、「エンジン」および「カーエアコン用コンプレッサー」等を集約し、報告セグメント「自動車」としてしております。また、収益は顧客の所在地に基づき地域別に分解しております。これらの分解した収益と各報告セグメントの売上高との関連は、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

		日本	米国	その他	合計
自動車	車両	46,303	—	—	46,303
	エンジン	50,364	20	11,394	61,778
	カーエアコン用 コンプレッサー	43,653	54,929	70,729	169,312
	電子機器・鋳造品ほか	23,330	2,510	12,007	37,847
産業車両		127,221	274,865	325,180	727,267
繊維機械		600	1,460	28,166	30,227
その他		29,537	—	675	30,213
合計		321,011	333,786	448,153	1,102,951
顧客との契約から生じる収益		320,493	304,370	415,626	1,040,490
その他の源泉から生じる収益(注)		517	29,415	32,527	62,460

(注) その他の源泉から生じる収益は、IFRS第16号に基づくリース収益等であります。また、その他の源泉から生じる収益は主に産業車両セグメントに含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

		日本	米国	その他	合計
自動車	車両	41,255	—	—	41,255
	エンジン	44,961	110	5,952	51,023
	カーエアコン用 コンプレッサー	32,763	36,629	56,077	125,470
	電子機器・鋳造品ほか	18,162	2,557	11,398	32,118
産業車両		118,943	256,217	287,758	662,920
繊維機械		749	997	16,134	17,882
その他		26,045	—	291	26,336
合計		282,881	296,512	377,613	957,007
顧客との契約から生じる収益		282,556	265,329	344,111	891,997
その他の源泉から生じる収益(注)		324	31,183	33,502	65,009

(注) その他の源泉から生じる収益は、IFRS第16号に基づくリース収益等であります。また、その他の源泉から生じる収益は主に産業車両セグメントに含まれております。

自動車セグメントにおきましては、車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサー、電子機器、鋳造品などの自動車関連の製品の販売を行っており、国内外の自動車関連メーカーを主な顧客としております。

産業車両セグメントにおきましては、フォークリフトトラック、ウェアハウス用機器、高所作業車などの製品の販売および保守契約や、自動倉庫、物流ソリューションなどの工事契約を含むサービスの提供を行っており、国内外のユーザーおよび代理店を主な顧客としております。

繊維機械セグメントにおきましては、織機、紡機、糸品質測定機器、綿花格付機器などの製品の販売を行っており、国内外の販売店を主な顧客としております。

7. 1株当たり四半期利益

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

① 親会社の普通株主に帰属する四半期利益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益	82,284	48,108

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益	28,545	24,038

② 普通株式の加重平均発行済株式数

(単位：千株)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
普通株式の加重平均発行済株式数	310,484	310,483

(単位：千株)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
普通株式の加重平均発行済株式数	310,484	310,483

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

## 8. 金融商品

### (1) 金融商品の公正価値

公正価値の測定に使用されるインプットは、以下の3つのレベルがあります。

#### ・レベル1

測定日現在で当社グループがアクセスできる活発な市場(十分な売買頻度と取引量が継続的に確保されている市場)における同一資産または負債の市場価格を、調整を入れずにそのまま使用しております。

#### ・レベル2

活発な市場における類似の資産または負債の公表価格、活発でない市場における同一の資産または負債の公表価格、資産または負債の観察可能な公表価格以外のインプットおよび相関その他の手法により、観察可能な市場データによって主に算出または裏付けられたインプットを含んでおります。

#### ・レベル3

限られた市場のデータしか存在しないために、市場参加者が資産または負債の価格を決定する上で使用している前提条件についての当社グループの判断を反映した観察不能なインプットを使用しております。当社グループは、当社グループ自身のデータを含め、入手可能な最良の情報に基づき、インプットを算定しております。

#### ① 償却原価で測定する金融商品

前連結会計年度および当第2四半期連結会計期間における償却原価で測定する金融商品の帳簿価額と公正価値は、次のとおりであります。

前連結会計年度(2020年3月31日)

(単位：百万円)

	帳簿価額	公正価値			
		レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産					
貸付金および 販売金融に係る 貸付金(注)	146,429	—	—	145,592	145,592
リース投資資産	326,936	—	—	327,625	327,625
金融負債					
社債(注)	609,081	—	624,762	—	624,762
長期借入金(注)	582,628	—	584,553	—	584,553

(注) 1年内返済、償還および回収予定の残高が含まれております。

当第2四半期連結会計期間(2020年9月30日)

(単位：百万円)

	帳簿価額	公正価値			
		レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産					
貸付金および 販売金融に係る 貸付金(注)	137,890	—	—	136,906	136,906
リース投資資産	335,038	—	—	337,525	337,525
金融負債					
社債(注)	590,889	—	607,472	—	607,472
長期借入金(注)	644,481	—	646,374	—	646,374

(注) 1年内返済、償還および回収予定の残高が含まれております。

償却原価で測定する短期金融資産および短期金融負債については、公正価値は帳簿価額と近似しているため、注記を省略しております。

リース投資資産の公正価値は、将来のリース受取料の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

貸付金および販売金融に係る貸付金の公正価値は、元利金の合計額を、新規に同様の貸付けを行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

社債および長期借入金の公正価値は、将来の元利金の合計額を、新規に同様の借入れを行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

② 経常的に公正価値で測定する金融資産および金融負債の公正価値

前連結会計年度および当第2四半期連結会計期間における公正価値で測定する金融商品の公正価値ヒエラルキーは、次のとおりであります。なお、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産には、負債性金融商品が含まれておりますが、金額的重要性はありません。また、レベル間の振替はありません。

前連結会計年度(2020年3月31日)

(単位：百万円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
デリバティブ資産	—	8,500	—	8,500
その他	1,897	—	3,953	5,850
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,003,292	871	96,371	2,100,535
合計	2,005,189	9,372	100,325	2,114,887
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
デリバティブ負債	—	7,651	—	7,651
合計	—	7,651	—	7,651

当第2四半期連結会計期間(2020年9月30日)

(単位：百万円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
デリバティブ資産	—	5,349	—	5,349
その他	3,085	—	4,513	7,598
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,223,155	855	101,315	2,325,326
合計	2,226,241	6,205	105,828	2,338,275
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
デリバティブ負債	—	8,000	—	8,000
合計	—	8,000	—	8,000

デリバティブは先物為替予約、通貨オプション、金利スワップ、金利通貨スワップおよび金利オプションに係る取引であります。

先物為替予約の公正価値は、為替相場等観察可能な市場データに基づき算定しております。通貨オプション、金利スワップ、金利通貨スワップおよび金利オプションの公正価値は、観察可能な市場データに基づいて取引先金融機関等が算定したデータを使用しております。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産である非上場株式、その他の持分証券の公正価値測定は、修正簿価純資産方式により算出しております。非上場株式の公正価値測定で用いている重要な観察不能なインプットである非流動性ディスカウントは、30%で算定しております。

レベル3に分類された金融商品の増減は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
期首残高	108,030	100,325
その他の包括利益に含まれている 利得および損失(注)	△4,345	4,634
購入	876	860
売却	△1,669	△0
その他	△13	9
期末残高	102,878	105,828

(注) その他の包括利益に含まれている利得および損失は、決算日時点のその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産に関するものであります。これらの損益は要約四半期連結包括利益計算書上「FVTOCIの金融資産に係る評価差額」に含まれております。

## 9. 関連当事者

当社グループは以下の関連当事者との取引を行っております。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
トヨタ自動車(株)およびその子会社		
製品の販売およびサービスの提供	136,831	108,054
部品の購入およびサービスの受領	14,126	10,801

(注) トヨタ自動車(株)は重要な影響力を有する企業であります。

## 10. 後発事象

該当事項はありません。

## 2 【その他】

中間配当に関し、次のとおり取締役会において決議されました。

①決議年月日	2020年10月29日
②中間配当金の総額	21,733百万円
③1株当たりの金額	70円
④効力発生日および支払開始日	2020年11月26日

(注) 2020年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主に対して支払を行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月13日

株式会社豊田自動織機  
取締役会 御 中

P w C あ ら た 有 限 責 任 監 査 法 人

名古屋事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川 原 光 爵

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 正 英

## 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豊田自動織機の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び要約四半期連結財務諸表注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条により規定された国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、株式会社豊田自動織機及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

## 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 要約四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

要約四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき要約四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。



## 要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、要約四半期連結財務諸表において、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において要約四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する要約四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、要約四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 要約四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた要約四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに要約四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、要約四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。